



明るく たくましい 明世の子

ビカリア

令和6年度
瑞浪市立明世小学校
NO. 1
R6. 4. 8

自ら学ぶ子に（エネルギーをためる）

学校の周りでは桜の花が咲いています。新年度が始まりました。お子様の入学並びに進級、おめでとうございます。新入生27名を迎え、全校児童196名、9学級でスタートしました。

明世小学校の教育目標は、『明るく たくましい 明世の子』です。

めざす児童の姿は、「自ら学ぶ子 仲よく助け合う子 体と心を鍛える子」です。

はじめに、「自ら学ぶ子」について、「勉強が楽しいから学校に行きたい。」と思えるようにしたいです。小学校では、文字が書けるようになった、計算ができるようになった、という経験がたくさんできます。それだけでも、幸せな気持ちになります。でも、もっと幸せなのは、家族にできたことを話した時や、やって見せた時です。それが復習になります。どんなことをやったか、聞いてください。答えが間違っていたとしても、否定せずに聞くことで、翌日も話す子になります。毎日、復習ができます。さらに「すごいね。もう、できるようになったの。」とほめてもらうと、「また、あしたもがんばろう。」と思ってやる気が出ます。こうして、学校に行く気持ちが高まり「自ら学ぶ子」になっていきます。

わかる、できる、を経験すると、脳内に幸せホルモンが出るといわれています。また、ハグやダッコのように接触しながらほめられることで、さらに、幸せホルモンが広がりエネルギーがたまります。ぜひ、子ども一人一人と話し、愛着を高める時間をつくってください。

次に、「仲よく助け合う子」にしたいです。これも、助けてもらってうれしかったという体験が必要です。うれしかったから、ほかの子を助けようと思えます。家庭でも、一緒に掃除や料理をした後に、「助かったわ。」という声をかけてください。子どものなかに、幸せが広がります。やさしくされるから、人にやさしくできる、と考えます。

そして、「体と心を鍛える子」についてです。子どもは毎日、成長しています。これまでできなかったことでも、毎日練習しているとできるようになります。逆上がりも、縄跳びも、走ることも、親を超えていきます。子どもたちには、できるようになりたいという思いをもって、挑戦して行ってほしいと思います。この挑戦が、心を鍛えることになると考えます。挑戦しても、できなかった。失敗した。それを乗り越えようとすることで、心も体も強くなっていきます。勝負に負けることも、大切な経験で、さらに挑戦したり、工夫を重ねたりして、より高まっていくと、自ら鍛えていくようにしたいです。

学校では、仲間の努力する姿を見ることができ、自身の頑張りを認めてもらえます。この頑張りが成長を家で話して、エネルギーを高めて、「また学校に来たい」と思ってくれるといいなと思います。時には、愚痴をこぼす時もあると思います（大人も）。苦勞した、頑張ったと認めてもらいたいし、明日へのエネルギーをもらいたいからです。聞いてもらっているうちに、解決方法に自分で気付くものです。やっぱり、1対1の時間が必要です。

学校へのあの坂道は、1年生の子にとってはかなりの負荷です。一度一緒に歩いて、大変さと楽しさを子どもと分かち合ってみてください。その後は、遊具や化石公園で遊ぶ、お弁当を食べるといった楽しみを用意しておく、エネルギーと幸せな気持ちが高まること間違いなし、です。

